

# 江南市地域公共共通を語る会の各回の成果

8月25日(木) 中央コミュニティ・センター

(Aグループ) 現状報告に対する意見

**PR**

- ・利用の周知を言っているがこれを維持するのは財政の障害になる。

**駅の駐輪場**

- ・駅前の駐輪場、駐車場の整備。Pが少ない。

**名鉄バス**

- ・最終便の時間が早い。
- ・大型バスから小型バスへの変更(効率の悪い路線)
- ・応分の負担を考える。利用者負担。
- ・バスの本数が少ない。
- ・本数が増えれば利用するのでは?
- ・バスの利用者が少ない(昼間)

**団地～病院**

- ・病院線の利用について早朝便も要望したが認められない。
- ・利益分まで含めて赤字補てんしている。
- ・団地～病院減便の影響は?
- ・早朝便が欲しいとの声あり。

**空白とタクシー**

- ・いこまいCARの発足の時は空白地域があった。
- ・江南市に公共交通空白地域はないと結論づけられているがいこまいCARは公共交通といえるのか。空白はある。
- ・タクシーはあるとあってよいか。

**いこまいCAR**

- ・前日予約がしにくい。
- ・いこまいCAR制度の広報必要→知らない。
- ・老人会などで乗り合いの実施。
- ・公共交通の主体としてタクシーを利用している自治体はほとんどなくあっても補助的に利用されているだけだ。
- ・高校生

**税投入**

- ・これ以上はNG
- ・このまま利用人口が増となると補助金の増額となり税投入はこれ以上はダメ。
- ・名鉄6,000万→3,000万
- ・いこまいCAR3,000万

(Aグループ) 今後どのような対応をすべきか

**負担の考え**

- ・応分の負担。
- ・福祉で考える。

**名鉄バス**

- ・補助金方法。
- ・駅ORバス停でいこまいCARを使い!
- ・すいとびあ赤字をチェック。
- ・赤字ルートをいこまいCAR定期便に。

**ボランティア**

- ・ボランティア輸送。
- ・小学校区OB活用。
- ・白タク問題。

**拠点まで**

- ・ハブ&スポークと拠点化
- ・拠点間のバス網

**利用してない人の意見を**

- ・議論ができるように。

**いこまいCAR**

- ・利用制限すべき
- ・いこまいCARの利用制限は必須だろう。少なくとも60歳以上～にすべき。
- ・いこまいCARの利用可能年齢の制限。
- ・公共交通の代替として考えるならば距離のある人の負担を軽減する方法を考えるべきだ。
- ・長い距離、高いのでつかえない。
- ・一律料金とは言わない。距離で補助率の差をつけるとか。距離格差を減らせ。

**路線化検討**

- ・路線化考えて。
- ・いこまいCARの利用状況を分析して多い路線は巡回バスに変化していくと考えていったらどうか。

(B グループ) 現状報告に対する意見

財政負担

- ・財政負担の歯止めがない。
- ・市の財政収入の割に経費が多い。

名鉄バス

- ・定期バスの便数が少なく、不便。
- ・布袋地区から江南市の他の地域へ行くバスがほとんどない。
- ・名鉄バスは、幸いバス停が近いので利用は便利です。バスの到着時刻も正確でした。
- ・利用率が多い。
- ・団地から江南厚生病院への利用者が少ないのではないか。
- ・バス停に屋根がない。

いこまいCAR

- ・高齢者がいる家庭にはいこまいCAR、コミュニティバスが便利。
- ・いこまいCARは大変助かりますので今のまま市民の足になるようこのまま続けてほしい。
- ・運転手がいらない。車がない。助かる。

大口コミュニティバス

- ・便数が少ない。
- ・バス停が暑い、寒い。屋根はあるのか？
- ・大口コミュニティバスの情報があまり知られていない。
- ・大口町コミュニティバスの停留所の位置(布袋駅)が遠い、分かりにくい。

福祉タクシー

- ・タクシー助成の85歳以上を引き下げて欲しい。
- ・11のカバー状況から外れた人の1人暮らしの人が心配だ

(B グループ) 今後どのような対応をすべきか

路線の見直し

- ・路線の見直し。
- ・できるだけ名鉄バスを利用しやすくする。
- ・路線の見直しを。
- ・積極的にバスを利用するよう努力する。
- ・外出する。
- ・人が集まるコミュニティの場が少ない。

- ・補助バス路線のうち利用者が少ない路線については見直しも。(廃止縮小もあり得ることもPR)→いこまいCARへ
- ・赤字路線の見直し。
- ・財政のおさえとして企業との相乗りをする。リンナイ等。
- ・名鉄バスの赤字の多い路線を見直す。

バスが利用できる、  
出かけられるように、  
コミュニティがある場が必要

財政負担の多い所の見直し

公共交通のPR

- ・バス路線のコース、時刻をPR。
- ・1人暮らしの住民にPR。利用率の向上。
- ・バスを利用しやすいような看板等。
- ・身近な問題です。今日のような場所が多くあればと思います。
- ・便、ルートを分かりやすくPR。
- ・情報提供。
- ・利用データの提示。

使いたい人の掘り起こし  
使いやすくするサポート

- ・使いたい人の掘り起こし。
- ・民生委員の活用。
- ・福祉タクシー85歳の制限を緩和する。
- ・タクシーチケットはどうすれば手に入るか。
- ・サポートする人が必要。